

国土交通大臣 海洋政策担当大臣の祝辞



ご祝辞を述べられる冬柴大臣

社団法人 日本水難救済会の平成二十年
名誉総裁表彰式典にあたり、一言、お祝
いの言葉を申し上げます。

このたび、名誉総裁表彰をお受けにな
られた、高知県水難救済会宿毛救難所・
大月救難所、琉球水難救済会、長崎県水
難救済会稲佐救難所、遊覧船かすみ丸有
限会社並びに社団法人日本海員救済会宮
城利府救済会病院の皆様は、心からお喜
び申し上げますとともに、その活躍に
深く敬意を表する次第です。

さて、日本水難救済会の救助員は、全
国各地で海難救助に従事されているとこ
ろですが、その活動は、海に生きる方々
の長年の知識と経験、さらには、海に立
ち向かう勇氣と高度な技能が相俟って初
めて達成されるものであります。

自らの本来のお仕事や、ご家庭での時
間などを犠牲にし、尊い人命のために海
難救助に出勤されることは、並大抵の精
神力ではありません。全国各地におきま
して、ボランティアで海難救助活動に
ご活躍される皆様方のことを非常に心強

く思うとともに、その活動にご支援・
ご協力いただいている皆様方に対しまし
て、感謝申し上げます。

日本水難救済会が、讃岐金刀比羅宮の
宮司 琴陵宥常氏の発起により、明治二
十二年に創設されて以来、今日まで百十
余年にわたり、活動を続けてこられたの
も、崇高な自己犠牲と相互扶助の精神が
関係者の方々に代々受け継がれるととも
に、これらの活動の重要性が国民に広く
認識され、多大な支援・協力が支えられ
てきた賜物ではないかと存じます。

国土交通省といたしましても、今後と
も、日本水難救済会の活動に対し、でき
る限りの支援・協力を行って参りたいと考
えております。

最後になりましたが、このたび、名誉総裁
表彰を受賞した皆様を始め、全国各地で水
難救済活動に献身的にご活躍されている関
係者の皆様方のご健勝と、名誉総裁の高円宮
憲仁親王妃久子殿下のもと、日本水難救済
会が益々発展されますことを祈念いたしま
して、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

■受賞者代表謝辞

高知県水難救済会宿毛救難所
所長 浦尻 和伸

本日、社団法人日本水難救済会名誉総裁表彰をいただきましたことは、身に余る光栄なことと大変嬉しく思っております。

ここに、本日の受賞者、大月救難所、中里、藤巻、福地の三名の救助員、稲佐救難所、遊覧船かすみ丸、宮城利府救済会病院、そして私ども宿毛救難所を代表致しまして、名誉総裁をはじめ本席においでの関係の皆様にかからの感謝を申し上げます。

私どもは、我が国の周辺海域で活動される人々の安全を確保するために、少しでも役に立ち、力になればという思いで、日々、海難救助、募金活動、洋上救急活動を行っております。

海難や急病人は、いつ発生するか分からないため、日頃の救難所員や医師・看護師の精神的な負担は大きく、また、実際に出勤する時は、海上の気象海象条件が厳しいことが多く、救助や医療を行う

側にも危険を伴うものであります。

今回、受賞対象となりました私どもの海難救助も、強風下の夜間での活動でありましたが、事故なく遭難者を救助できましたのは、日頃の訓練の賜物であるとともに、人命救助という使命を何とか果たしたいという救難所員全員の強い気持ちがあつた結果と受け止めております。

今回の受賞は、私どもに大きな激励とともに、更なる新しい活力を与えて頂きました。

これからも、名誉総裁表彰受賞の榮譽に恥じぬよう十分に訓練を積み、一層の努力を重ねて参りたいと思っておりますが、引き続き日本水難救済会をはじめ、関係の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■名誉総裁表彰を受賞して

NPO法人長崎県水難救済会 稲佐救難所
所長 福田 一幹

長崎県は北海道に次いで海岸線が長く、水産、観光、造船と歴史ある情緒あふれた港町で、太平洋側に面し五島灘に沿って魚種も豊富で好漁場が多く、県内外から沢山の漁船、プレジャーボートが集まる場所でもあり事故も沢山発生しております。

稲佐救難所は、長崎港内の奥に位置し、所員百十一人、主に長崎小型船安全協会のプレジャーボートの関係者、町の水上消防団員、定年を終えた人達で経験豊富な人材がそろっております。

毎年海上安全講習会、ライフジャケット着用を呼びかけている関係で、年々救助回数も減少してきており大きな成果をもたらしております。

このたび、平成十五年（十九年）までの五年連続海難救助件数一位の、名誉総裁表彰を受賞させていただき、名誉なことと、喜びと、また使命感が湧いてまいりました。これも一重に長崎海上保安部長様、職員の皆様、関係者の皆様方の御支援ご協力の賜物と心より御礼と、深く感謝申し上げます。

私達はこれからも、子供達のボランティア教室、心肺蘇生、救助訓練等に取組み、事故撲滅に邁進して、この賞に恥じぬよう、一層努力を重ねてまいりたいと思っておりますので、皆様方の御支援ご協力をよろしくお願い致します。